

## スライドショー形式のファイルの印刷手順

授業などで提供されている PowerPoint スライドショー形式のファイル（拡張子が.ppsxのもの。以下、PPSX ファイルと略記する）は、スライドショー実行中のメニューに「印刷」項目が表示されない。提供されているファイルを印刷して、自分なりの授業ノートを作るような場合の便宜のために、印刷の手順について解説しておく。

## ファイルのダウンロード

Web ブラウザで、PPSX ファイルを開くと、そのままスライドショーモードになってしまうので、必ずダウンロード（ブラウザによっては「保存」や「名前を付けて保存」）を選択して、PC 側に保存しておく。保存先のフォルダーを変えていない場合は「ダウンロード」フォルダーに保存されていることが多いので、ダウンロードしたファイルが正しく保存されていることを確認しておく。

## PowerPoint の起動と「ファイル」メニューからの読みこみ

保存したファイルを右クリックすると「印刷」項目が表示されるが、この場合は用紙 1 ページに 1 枚のスライドが印刷されてしまうことが多いので、より確実にコントロールするために、プログラムメニューから PowerPoint を起動してからファイルを読みこむことに注意する。

プログラムメニューから PowerPoint を起動したら、「ファイル」リボンに切り替えて、「開く」を選択する（図 1 および図 2）。

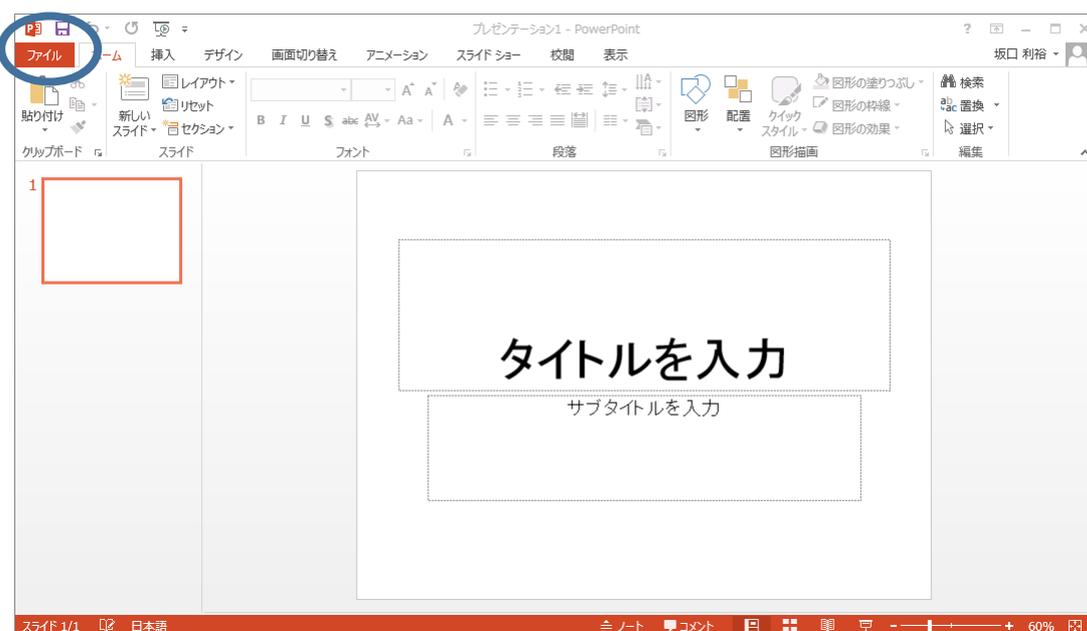


図 1 PowerPoint の起動画面

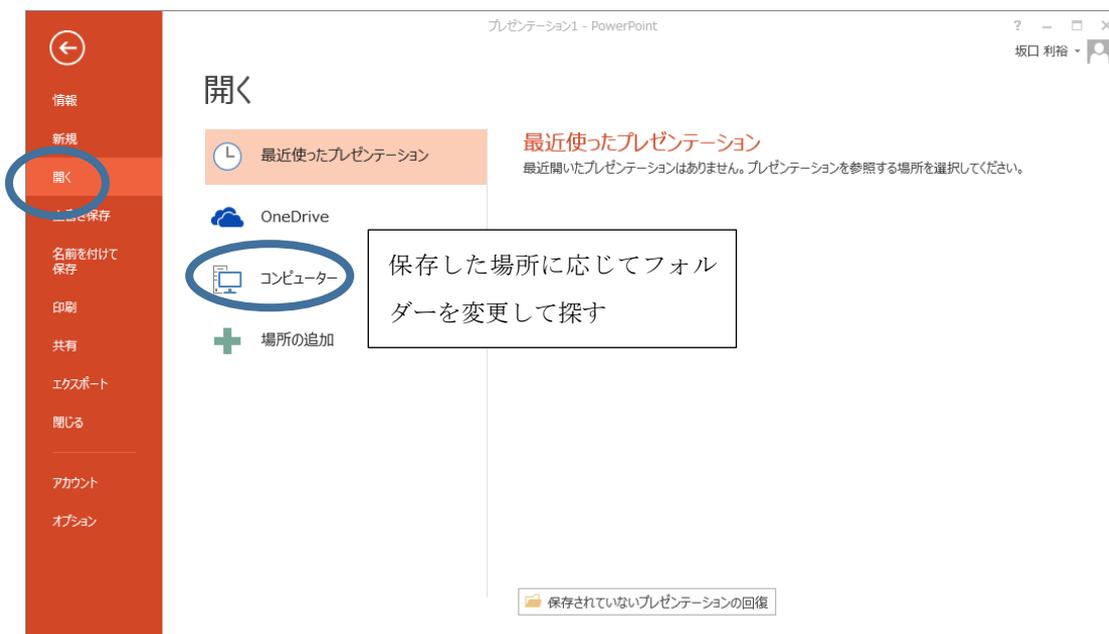


図 2 「ファイル」→「開く」で目的のファイルを選択

### 印刷形式の指示

印刷するには、「ファイル」リボンから「印刷」項目を選択する。授業ノート用には、配布資料形式の中から 3 枚／ページを選択すると、メモ用の罫線も同時に印刷してくれるので都合がよいだろう（図 3）。

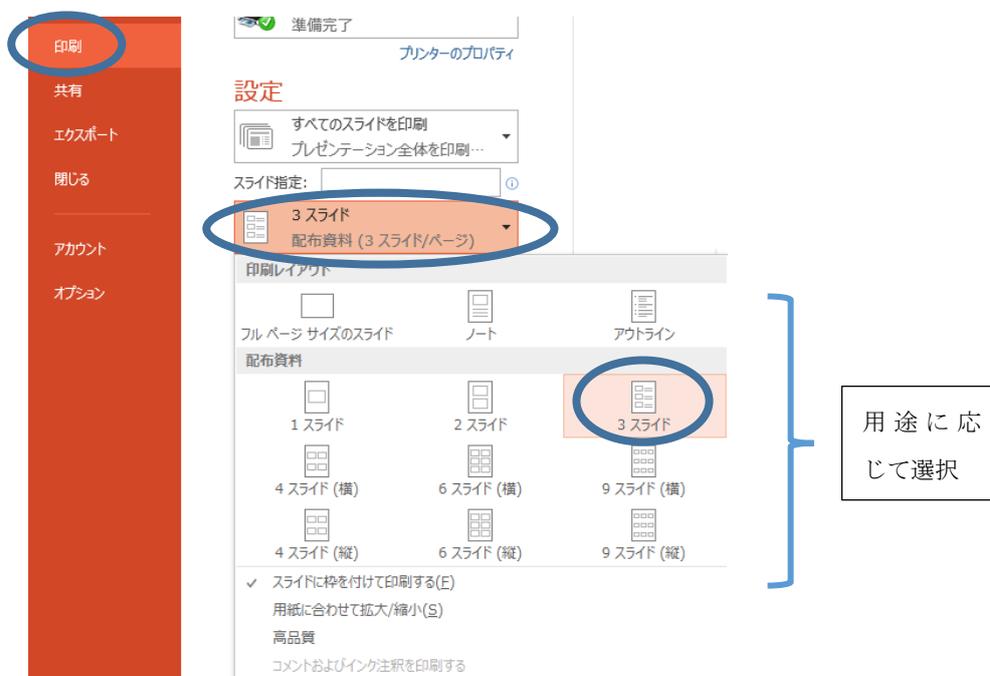


図 3 印刷の対象（形式）を「配布資料」に変更

印刷イメージの例

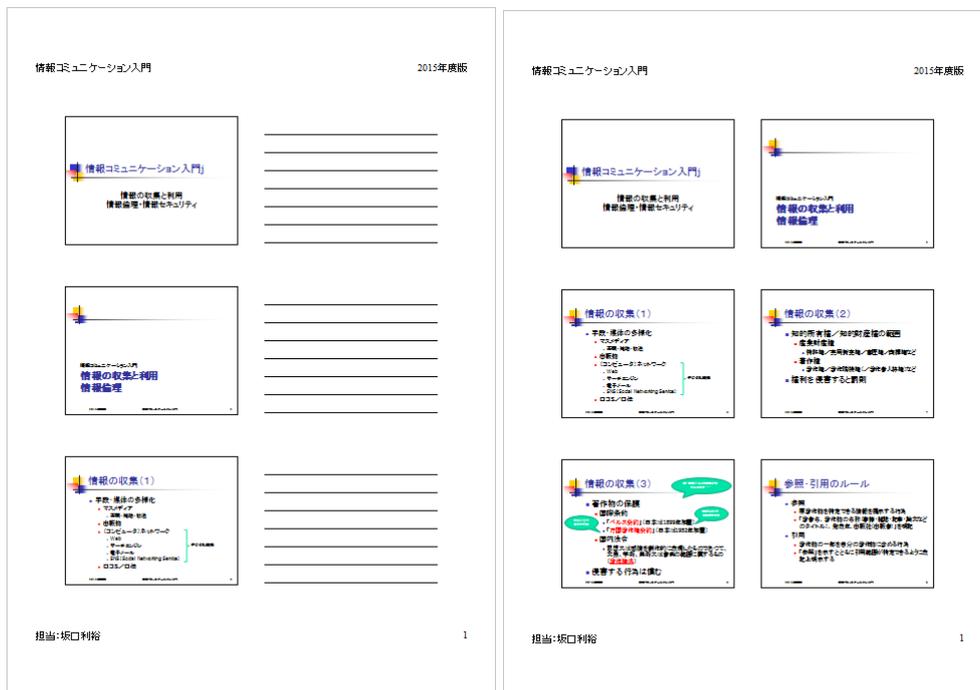


図 4 配布資料の印刷イメージ (左 : 3 枚 / ページ, 右 : 6 枚 / ページ)

(参考)

なお、PPSX ファイルのままでは、エクスプローラ上でのダブルクリックによる呼び出しでは、スライドショーが始まってしまうので、頻繁に利用する場合には、「ファイル」から「名前を付けて保存」を使って、通常のプレゼンテーション形式 (拡張子.pptx) で保存し直しておけばよい。

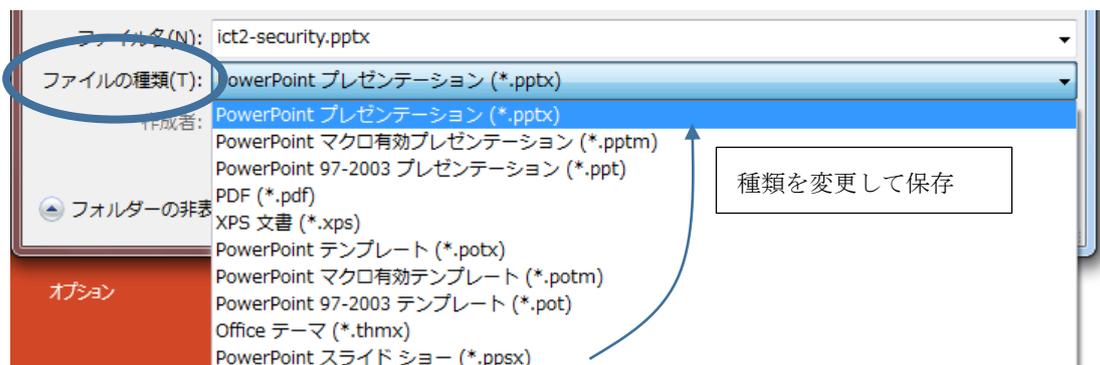


図 5 「名前を付けて保存」ダイアログの「ファイルの種類」の変更手順